

TTS

荷付でトラックリース

トランコムの特荷・求車マッチング

愛知県名古屋市中に本社を置くTTS（上林亮社長）は、平成28年3月7日に設立。トランコムと三井物産が折半出資した合併会社で、トラックのリース事業を手掛けている。通常のリース会社と異なるのは、荷付でトラックをリースする点。出資会社のトランコムは求荷・求車のマッチングサービスがメインで、TTSは、トランコムが取り扱う1日約1万5000件、50000件近くのマッチングを成立させている。

「三井物産の協力を得て、発注から納車まで約1年かかると言われるトラック

でも、驚くほど短期で納車していただけている」と、トランコム執行役員も兼任する上林社長は話す。

リース契約は基本が5年だが、7年などのケースもある。



上林社長

せる経営者も多いが、TTSが扱う仕事を考えていく」と語る。は65〜70%がパレット積み

「待機（拘束）時間が長くてコンプライアンスが守れない」と手積み・手下ろしはキツイのでドライバーが嫌がる」など、荷主とドライバーの間で頭を悩ませている。ただ、トラック

という。「TTSのリース料はトランコムでの運賃と相殺で、新しいので、車両購入の現金がなくても、新車が通常より短期で手に入ると喜ばれている。ただ、トラック

か月というスピード納入をしてもらえたい」という声と共に「トランコムさんからの運賃収入でTTSのリース料支払いを相殺してくれ、トランコムさんとのパイが太くなったように思う」との声もある。

上林社長は「アルファのサービスとして、トランコムが運営する求人情報にトラックドライバー募集の広告を安く出せて、効果も良いと聞いている。大きなグループの一員として、安定して仕事ができるということがドライバーの定着にもつながるので、要望を聞き入れない荷主から脱却する良いきっかけになるかも」と述べる。

(小澤 裕)

(ライター・天野由佳)